

数学は効率良く・能率良く、勉強しましょう！

公立中学生と違い、高校生や私立中学生が、塾や予備校で数学の授業を習うのは、ほとんどが間違いです。東大理Ⅰや理Ⅱなどを滑り止めにして、医学部を狙っているのなら、ありかもしれませんが、時間と金が無駄になります。久留米自習室のように、「わからない数学の問題を質問する」それぐらいしか、数学には時間をかけてはいけません。つまり、「学校で習っている数学を完全消化する」それだけで、東大だろうと、普通は合格するものです。

例えば、福岡県内の高校生の多くが受験するある国立大学の理工学部の教授と話したのですが、「二次試験の数学の合格最低点は何点でしたか？」と聞きましたら、「30点」と言われていました。もちろん、100点満点ではないです。150点満点か200点満点か250点満点か、その中のどれかですが、数学はそんなものですから、わざわざ塾や予備校で数学の授業を受けるのはナンセンスだとわかるでしょう。数学以外を高得点する事が大事です。数学は、定期考査で赤点を取らないように、みな習いにきていますね。

学校で出された宿題など、次の日に黒板に書かないといけない数学の問題を、一問解くの何時間もかけている生徒がいます。それが無駄なのです。久留米自習室では、自習料金とは別に、数千円の教科指導料で、習う事ができます。そうすれば、何時間もかからず、ものの数分で解決します。毎週90分も2時間も、塾や予備校の数学の授業を受けるより、そういう学校の授業だけで完結することが大事です。そうする事により、数学以外の可否を決める教科に、勉強時間を集中できるのです。

学校の集団授業で、成績が上がらない生徒が、塾や予備校の一方通行の授業を受けても、成績が上がらないのは仕方がない事です。しかし、久留米自習室と同じように、一対一で指導を行っている個別指導塾でも、なかなか成績が上がらない事があります。それは、週に1回か2回、90分か2時間習っている事が原因です。久留米自習室では、元高校の数学教師である私が、毎日指導しています。決められた時間があるわけではなく、好きなだけ習う事ができます。すると、「昨日は10分だけ習った」「今日は5分だけ習った」そういう「積み重ね」になります。よって、一週間に90分も2時間も習う個別指導塾とは違い、授業料は4分の1から10分の1と、安くなって、成績も上がります。週に1回か2回だけ、まとめて90分も2時間も無理に詰め込んでも、成績は上がりません。むしろ、毎日のように、少しずつ習って、無理なく難関校に合格できています。

週に一回、90分か2時間の詰め込み勉強というのは、「暗記科目」の勉強の方法であり、数学のような「思考力を鍛える科目」の勉強は、毎日のように継続しなければなりません。思考の歯車を、一日でも止めてしまえば、せっかくの今までの勉強が無駄になってしまいます。ですから、短期集中型の暗記科目とは違う、毎日少しずつでいいから、コツコツ勉強に来れる生徒は、素晴らしく数学が伸びます。

しかし、多くの生徒は毎日数学の質問には来ませんので、定期考査や宿題の時に持ってきて、入試本番は「数学以外で勝負する」です。それがわかっているか、いないかの差です。